



開町記念日にあたって

八雲町長 岩村克詔



新生八雲町の誕生から9回目の開町記念日を迎えるにあたり、町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、平素から町政の推進に対し深いご理解とご協力をいただきありがとうございますことに心から感謝申し上げます。

八雲町は、この恵まれた自然環境を背景に、農業と漁業を基幹産業とし発展して参りましたが、私達のこの豊かな生活の陰には、数々の困難に打ち勝ってきた先駆者の尊い汗と辛苦があったことを決して忘れてはなりません。私も、昨年10月の就任から早いもので1年を経過しようとしておりますが、これまで当町が積み重ねてきた歴史の重さと、これからのまちづくりに対する責任の重さをひしひしと感じ町政を担わせていただいております。さて、国はここに来て全国的な人口の減少や少子高齢化

の問題を大きく取り上げ、この先、全国の自治体の約5割で若い女性が半減し、地域が崩壊する危機を指摘しております。こうした事態に我々地方自治体は、地方から都市への人の流れに歯止めをかける施策を早急に講じていかなければいけないものと感じているところであります。

今年度から町は、財源の確保と地域特産品のPRを兼ねた「ふるさと納税（応援寄附金）」に力をいれ、全国から予想をはるかに上回る応援が寄せられているところでございますが、こうして寄せられた皆様からの想いは、魅力ある八雲町の創造のためにしっかりと活用させていただきたいと存じます。

新八雲町総合計画も、町民ニーズ等に対応した見直しを行い、昨年度から5カ年での後期基本計画がスタートしたところであります。八雲町のまちづくりのテー

マは、町民憲章の理念に基づき、「道南北部の中心都市にふさわしいまちづくり」「人口と雇用が維持されにぎわいのあるまちづくり」「町民と行政が支え合う協働のまちづくり」でありますが、これら3項目を基本目標に定め、現状の社会情勢、人口動態、加えて財政状況を踏まえながら新たな施策や、これまで進めて

きた取り組みの質的向上を図り、自主・自立のまちづくりを進め、八雲町の発展に結びつくよう私も全力を尽くして参りますので、町民皆様の変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。目指すべき目標に近づいていくためには、厳しい現実や多くの課題がありますが、先人、先輩の方々が築き上げて

きた八雲町を、次の世代に魅力的な「ふるさと」として手渡すため、そして未来に輝く八雲町の実現のため、町政に対する一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、町民皆様のご健勝を祈念し、開町記念日にあたってのご挨拶といたします。

紺綬褒章受章

河原忠義様

河原さんは、平成26年2月28日付けで、ふるさと応援寄附金として、500万円を町に寄付され、この篤行に対しまして授与されました。

町は、ご厚意に深く感謝を申し上げます。河原さんの意向により、高齢者福祉および健康増進事業に活用させていただきます。なお、河原さんは、平成4年、平成21年に総額1,000万円寄付され、紺綬褒章を2度受章されています。



平成26年度 八雲町表彰者

功労表彰（一名）

千葉 隆様 出雲町 町議会議員

善行表彰（九名）

- ・河原 忠義様 栄町 多額寄付
- ・山田 秀夫様 熊石相沼町 白寿
- ・菅原 清様 相生町 白寿
- ・新川 正義様 熊石関内町 白寿
- ・鈴木トシノ様 相生町 白寿
- ・千金 武夫様 花浦 白寿
- ・安藤 静男様 出雲町 白寿
- ・小林まつ子様 熊石平町 白寿
- ・山崎まさ子様 本町 白寿